

## 特別支援教育 国語科学習指導案

1 単元名 「シチューのつくりかた」を読んで、自分のシチューのレシピをまとめよう

### 2 指導観

#### ① 児童の実態

本学級の児童は、学年や特性は異なるが、情緒はだいたい安定しており仲よく日常生活を送っている。

言語活動に目を向けると、「聞く」ことについては日常生活では特に問題もないが、「話す」ことについては、言葉が不明瞭であったり単語で要求を伝えようとしたり教師の支援を必要としたりする場面も時々ある。「読む」ことについては、全員ひらがなを読むことができ、自分の当該学年の漢字を学習している児童もいる。読むことがむずかしい漢字には読みがなを打って音読練習をしながら漢字の読みの練習をしている。どの児童も語句の意味を理解し、書かれている内容を正しく把握しながら文章を読むことが、今後の課題の一つである。

児童はこれまでに、みそ汁やカレーのレシピを読み、材料や道具、作り方を書いた自分のレシピをもとに、みそ汁やカレーを作る経験をしている。カレー作りの学習では、レシピに書かれている材料や道具、作り方を見て、自分のレシピを作ることができた。この時、材料や道具については、対応する絵カードを正しくはりつけることができた。

#### 【個別の実態】

	意欲・態度	読 む	話 す	聞 く
A 児	指示がなくても自分から学習に取り組み、課題が終わるまでやり遂げようとする。	材料と道具の概念とちがいが確実には入っていない。道具とその名前が一致せず、あやふやな時がある。	伝えたいことをまちがった言葉や文で話してしまうことや言葉が不明瞭になることがある。	日常生活で話を聞いてなくて困ったということはない。友だちの発表には、興味を持って聞こうとする。
B 児	取り組む課題を理解しているが、促さないと課題に取りかからないことがある。気持ちが落ち着けば自分で早く作業を進められる。	文章を読んだ時、書かれている言葉は頭に入っている。しかし言葉や文章の意味を正しく理解できていないことも多い。	困っている時、「先生！」と呼ぶだけのことが多く、思っていることをうまく表現することができない。	話の内容を聞いているようで、聞いていないことが多い。友だちの発表にあまり興味を示さない。
C 児	課題の内容をよく理解して自分で学習に取り組み、課題をやり遂げることができる。	文章を読んだ時、書かれている内容は正しく頭に入っている。抽象的な言葉や擬態語などの理解が進んできた。	相手の興味・関心に関係なく、自分から一方的に話す傾向がやや薄らいできた。	自分への指示だけでなく、教師が自分以外の児童に指示した内容も聞いて、把握していることがよくある。

## ② 教材の価値

本教材は、みそ汁やカレー作りで調理の楽しさを感じ、「また(料理を)作ってみたい」と思っている児童が、「シチューのつくりかた」を読んで必要な材料や道具、作り方を理解し、自分のシチューのレシピを作る教材である。

自分で作って、できた物を食べるという調理学習は、児童が意欲的に取り組める学習である。シチューは児童が好きな料理で、材料も日ごろ家庭にあるもので作ることができるので、「自分たちで作って食べられる」という活動への期待感が大きいと考えられる。

また日ごろ文を読んで、その意味を考えることがほとんどない児童も、シチュー作りをするためには、どんな材料や道具が必要で、どのように作ったらいいのかという「シチューのつくりかた」の文章を自分でよく読む必要感に迫られる。このように調理活動に必要な言葉を読み取ったり身に付けたりすることは、児童が自立した生活を送るようになるためにも意義深いと考える。

さらに自分が作ったレシピを認められたりほめられたりすることや、自分で作ったシチューを食べることは、達成した喜びを味わうことができ、次の学習への意欲になっていくと考える。

## ③ 指導に当たって

本教材の指導に当たっては、「シチューのつくりかた」を読み、自分のシチューのレシピを作らせたい。そのために次のような工夫を考えている。

- i 「シチューのつくりかた」を読み、自分のシチューのレシピを作って、シチューを作るという活動の見通しと意欲が持てるように、カレー作りなど、これまでの学習をふり返らせる。
- ii 学習への関心と意欲が持てるように、作るシチューは3人とも同じものではなく、異なった3種類のシチューにしてちがいをを持たせる。
- iii 一人一人の読みの力を高めるために、「シチューのつくりかた」の文章は一文ごと・段落ごとに書かれた異なった文章にし、漢字の使用や修飾語をつけ加えるなど、読む力に応じて表記をかえる。
- iv 書かれた内容と順番を把握しやすいように、「シチューのつくりかた」を読む時、児童によっては言葉や文に番号をつけて読むようにさせる。
- v 言葉や文の内容を正しく読み取るように、自分のレシピを作らせる。自分のレシピを作る用紙は、一人一人の読む力と書く力に合わせて、書く内容や量をかえる。
- vi 文章を字面で追うだけにならないように、自分のレシピを作る用紙には、文章の読み取った内容に対応する材料や道具、作り方の絵カードをはらせるようにする。

## 3 目標

- ◎ 自分で必要な材料や道具、作り方を読み取って、学習プリントに言葉や文、絵カードで自分のレシピを作ることができるようにする。《自ら》
- ◎ 学習したことを話したり聞いたりすることができるようにする。《互いに》
- ◎ シチューの材料や道具、作り方を読み取って、自分のシチューのレシピを作ることができるようにする。《読み》

4 指導計画：2時間（※支援 aはひとり読みに関する支援 bは交流活動に関する支援）

- ・ 本教材の学習活動について見通しを持ち、「シチューのつくりかた」を読む。 …1時間
- ・ 「シチューのつくりかた」を読み、自分のシチューのレシピを作る。 …1時間（本時）
- \* 自分のシチューのレシピを見て、シチューを作って食べる。（関連：生活単元学習）

時	主な学習活動と内容（○）	支 援(※)
1	<div style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">自分の「シチューのつくりかた」を読む</div> <p>1 これまでのレシピと料理作りの学習をふり返る。</p> <p>2 本時の学習のめあてをつかむ。</p> <p>3 自分の「シチューのつくりかた」に出会う。</p> <p>4 自分の「シチューのつくりかた」を読む。 ○ 自分がつくる「シチューのつくりかた」の文章を声に出して読めること。</p> <p>5 本時をふり返り、学習のまとめをする。 (1) 自分が作るシチューを発表する。 (2) 学習の感想やよさを出し合う。</p>	<p>※ これまでの学習を想起させ、本教材の学習での意欲を持たせる。(a-1)</p> <p>※ 3人それぞれちがうシチューを作ることを知らせ、本教材への意欲を持たせる。(a-1)</p> <p>※ 同じシチューでも使う材料がちがうことに気付かせ、意欲を持たせる。(a-1) ※ うまく読めない言葉やはっきりと分からない言葉の補助や助言を行う。(a-3)</p> <p>※ 音読練習して読めるようになった「シチューのつくりかた」を発表させ、それぞれのがんばりを賞賛する。(b-1)</p>
2 本時	<div style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">自分のシチュー作りのレシピを作る</div> <p>1 前時をふり返り、本時のめあてをつかむ。 (1) 前時をふり返る。 (2) 本時のめあてをつかむ。</p> <p>2 レシピの作り方の手順と方法を確認する。</p> <p>3 「シチューのつくりかた」を音読する。</p> <p>4 自分のレシピを作る。 (1) 「ざいりょう」「どうぐ」を書く。 (2) 「つくりかた」を書く。 ○ 「ざいりょう」「どうぐ」や「つくりかた」を正しく読み取って自分のレシピに書くこと。</p> <p>5 本時をふり返り、学習のまとめをする。 (1) 自分が作ったレシピを発表する。 (2) 学習の感想やよさを出し合う。</p>	<p>※ 前時学習を想起させ、本時学習の意欲を持たせる。(a-1)</p> <p>※ レシピの作り方の手順と方法を確認し活動の見通しを持たせる。(a-2)</p> <p>※ 音読の補助や促す言葉かけ(a-3)</p> <p>※ レシピ作りを促す言葉かけ(a-2) ・「ざいりょう」「どうぐ」 ・「つくりかた」</p> <p>※ 作ったレシピと自分が学習したことを発表させ、それぞれのがんばりを賞賛する。(b-1)</p>

6 本時目標

- ① 自分で必要な材料や道具，作り方やその注意点を読み取って，学習プリントに言葉や文，絵カードで自分のレシピを作ることができるようにする。《自ら》
- ② 学習したことを話したり聞いたりすることができるようにする。《互いに》
- ③ 個別の目標 《読み》

A児	・一文ごとに書かれた「シチューのつくりかた」を読み取り，材料や道具は単語で，作り方は二語文でレシピを作る。
B児	・短い段落ごとに書かれた「シチューのつくりかた」を読み取り，材料や道具は単語で，作り方はその順序に注意しながら，二・三語文でレシピを作る。
C児	・段落ごとに書かれた「シチューのつくりかた」を読み取り，材料では量を，作り方では注意することも書き加えて，くわしくレシピを作る。

7 準備

「シチューのつくりかた」の文章(=児童用/教師・掲示用)，レシピを作るプリント  
材料や作り方の絵カード(=児童用/教師・掲示用)，のり

8 本時指導に当たって

児童は前時に「シチューのつくりかた」を読んで自分のレシピを作り，シチューを作るという活動への意欲と見通しを持っている。そこで本時は，作り方の文章を読んで，シチューの材料や道具，作り方に注意しながら，自分のシチューのレシピを作ることができるようにしたい。

そこで本時においては，次のような学習指導の工夫を考えている。

- i 前時の学習をふり返り，本時学習のめあてである「自分のシチューのレシピをつくる」ことを確認する。
- ii それぞれの活動の手順をおさえながら，レシピの作り方の手順と方法を確認する。
- iii 「シチューのつくりかた」を音読し，プリントに自分のレシピを作っていく。
- iv プリントには，児童がレシピを作りやすいように，「ざいりょう」「どうぐ」「つくりかた」の欄を設け，それぞれ分けて書き込むようにする。また自分が読んでいる箇所を確認しやすいように，児童によっては材料や道具，作り方の言葉や文に番号をつけるようにする。
- v 材料や道具を書く活動では，文章を読み取って調理に必要なものを書き込み，対応する絵カードをはらせるようにする。C児の材料には，使う量も書き込ませる。
- vi 作り方を書く活動では，文章を読み取って，どのように作っていくのか，特に作り方の順序に注意しながら書かせる。そして，その作り方に対応する調理の絵カードをはらせるようにする。
- vii 最後に自分が作ったレシピを発表させ，それぞれのがんばりを認めたりほめたりすることで，活動の満足感や達成感を味わうことができるようにしたい。そして今日作ったレシピをもとに，シチューを作ることを告げ，次時の学習の意欲が持てるようにしたい。

9 展開 (※支援 a はひとり読みに関する支援 b は交流活動に関する支援)

主な学習活動と内容 (○) と評価の視点 (◆)	
<p>1 前時をふり返り、本時のめあてをつかむ。</p> <p>(1) 前時を想起する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の「シチューのつくりかた」を読み、音読練習をしたこと。</li> </ul> <p>(2) 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>自分のシチューのレシピをつくろう。</p> </div> <p>2 レシピの作り方の手順と方法を確認する。</p> <p>○ レシピには「ざいりょう」「どうぐ」「つくりかた」を書き、対応する絵カードをはっていくこと。</p> <p>3 「シチューのつくりかた」を音読する。</p> <p>○ 「ざいりょう」「どうぐ」「つくりかた」を間違えないように、はっきりと音読すること。</p> <p>4 自分のレシピを作る。</p>	
A児 「クリームシチュー」	B児 「ビーフシチュー」
<p>(1) 「ざいりょう」「どうぐ」を書く。</p> <p>○ 一文ごとに書かれた「シチューのつくりかた」を読んで、必要な材料・道具を自分のレシピに書くこと。</p> <p>○ 必要な材料・道具に対応する絵カードをはること。</p> <p>◆ 必要な材料・道具を正しく書いているか。</p> <p>◆ 必要な材料・道具に対応する絵カードを正しくはっているか。</p> <p>(2) 「つくりかた」を書く。</p> <p>○ 作る順序に注意しながら、作り方を二語文でレシピに書くこと。</p> <p>○ 作り方に対応する絵カードをはること。</p> <p>◆ 作り方を二語文で正しく書いているか。</p> <p>◆ 作り方に対応する絵カードを正しくはっているか。</p>	<p>(1) 「ざいりょう」「どうぐ」を書く。</p> <p>○ 短い段落ごとに書かれた「シチューのつくりかた」を読んで、必要な材料・道具を自分のレシピに書くこと。</p> <p>○ 必要な材料・道具に対応する絵カードをはること。</p> <p>◆ 必要な材料・道具を正しく書いているか。</p> <p>◆ 必要な材料・道具に対応する絵カードを正しくはっているか。</p> <p>(2) 「つくりかた」を書く。</p> <p>○ 作る順序に注意しながら、作り方を二・三語文でレシピに書くこと。</p> <p>○ 作り方に対応する絵カードをはること。</p> <p>◆ 作り方を二・三語文で正しく書いているか。</p> <p>◆ 作り方に対応する絵カードを正しくはっているか。</p>
<p>5. 本時をふり返り、学習のまとめをする。</p> <p>(1) 自分が作ったレシピを発表する。</p> <p>(2) 学習の感想やよさを出し合う。</p> <p>(3) 次時の学習について知る。</p>	

	支 援 (※)
	<p>※ 前時学習を想起させ、本時学習の意欲を持たせる。(a-1)</p> <p>※ それぞれの活動の手順をおさえながら、レシピの作り方の手順と方法を確認し、活動の見通しを持たせる。(a-2)</p> <p>※ 音読の補助や促す言葉かけ(a-3)  A 児→間違った音読や不明瞭な音読への補助と意識付け。特にカタカナや濁音に注意させる。  B 児→音読の補助と促し。  C 児→どのように作るのか注意することを強調しながら音読するように意識付ける。</p>
<p>C 児 「クリームシチュー」</p>	
<p>(1) 「ざいりょう」「どうぐ」を書く。</p> <p>○ 材料の量なども書かれた「シチューのつくりかた」を読んで、必要な材料・道具を自分のレシピに書くこと。</p> <p>○ 必要な材料・道具に対応する絵カードをはること。</p> <p>◆ 必要な材料・道具を正しく書いているか。</p> <p>◆ 必要な材料・道具に対応する絵カードを正しくはっているか。</p> <p>(2) 「つくりかた」を書く。</p> <p>○ どのように作るのか、注意することも書き加えて、作り方をくわしくレシピに書くこと。</p> <p>○ 作り方に対応する絵カードをはること。</p> <p>◆ 作り方を注意することも書き加えて、くわしく書いているか。</p> <p>◆ 作り方に対応する絵カードを正しくはっているか。</p>	<p>※ レシピ作りを促す言葉かけ(a-2, 3)  「ざいりょう」「どうぐ」  A 児→必要な材料や道具を正しく書けていない時は、材料や道具に番号をつけ、正しく書けるようにする。  ・必要な材料や道具の絵カードを正しく選ぶことができたか確認し、補助したり賞賛したりする。</p> <p>※ レシピ作りを促す言葉かけ(a-2, 3)  「つくりかた」  A 児・B 児→作り方の文に順番をつけ、正しい順番で書けるようにする。  ・正しい順番で絵カードを並べることができたか、確認し、補助したり賞賛したりする。</p>
	<p>※ 作ったレシピと自分が学習したことを発表させ、それぞれのがんばりを賞賛する。(b-1)</p> <p>※ 作ったレシピをもとにシチューを作ることを告げ、次時の学習への意欲を持たせる。(a-1)</p>